

総務文教委員会

市の企画部、総務部、財政部、地域振興部、出納室、選挙管理委員会、監査事務局、教育委員会などに関する事項に対応する委員会です。

◎勝山 修 ○佐々木裕子 北本周作 権田直良
末永弘之 竹内靖人 野村昌平 森下寛明 森西順次

今期定例会の付託議案三十三件、報告一件、継続審査中の請願二件を審査した。

平成十八年度「一般会計第六次補正予算」では、一宮小学校校舎増築工事の繰越措置について、当初から適正に工期設定をすべきと意見を付し、全員一致で可決した。関連の工期延期の契約案件では、工事業者へ指導処置をすべきとして、賛成多数で可決した。

平成十九年度「一般会計予算」

では、支所のあり方・今後の方向性、第四次総合計画に関連した合併地域での事業バランス、アルネ津山上層階駐車場の管理、市政番組制作に関連した情報提供などについて質疑された。学校給食センター建設事業については、給食を始めることには賛成だが、経緯・経過に納得し難い点があるという意見もあり、工事契約案件とともに、賛成多数で可決とした。

その他、地方自治法の改正による条例改正など二十九件の議案を可決し、アスベスト調査手数料の専決処分である報告案件については承認とした。

継続審査中の請願について、「サラリーマン増税、消費税の引き上げなど、大増税に反対する請願書」は継続審査。「たばこ販売組合への助成に関する請願」は採択とした。

日程

平成十八年七月十二日(水)～十四日(金)

視察場所と内容

- 東京都八王子市
- 協働の推進について
- 東京都武蔵野市
- 行政と地域大学との連携、協力について
- 学校給食について
- 東京都三鷹市
- 安心安全メールについて
- 災害情報の発信について



八王子市では、多様化する市民ニーズに行政の限界を感じ、協働

のあり方に関する基本方針を策定している。NPOの自立を前提とした補助金制度も実施され、今後団塊の世代を地域活動に取り込んでいくための施策や、NPOと町内会との連携などネットワークの構築が課題となっていることは、当市においても同様と感じた。

武蔵野市では、地域の大学への寄附による自由大学講座の開設や小・中学生を対象とした土曜学校の実施で、生涯学習事業や通常学校ではできない様々な体験活動が提供されていた。学校給食は、自校方式とセンター方式の併用で行われ、以前から化学調味料や調理済み食品を使用していない点には参考となるものがあつた。

三鷹市の安心安全メール・災害情報の発信では、警察等の関係団体との連携や、行政内部の体制整備が重要となり、今後当市が導入していく場合の問題提起となった。

◎ 議員はお祭りへの寄付や差し入れも禁止されています。